



武陽食品株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル
Tel. 03-3211-4831 Fax. 03-3211-6004

『武陽月報』は、武陽食品株式会社と株式会社J-オイルミルズが、酪農家・肉牛農家の皆様に役立つ情報をお届けするニュースレターです。

4月生乳生産量 2.0%増 ALIC

独立行政法人農畜産業振興機構（ALIC）は、2022年4月の生乳生産量は、65万6,967トン（前年同月比2.0%増）と前年同月をわずかに上回ったと発表した。地域別に見ると、北海道は36万3,741トン（同3.5%増）とやや増加し、都府県は29万3,226トン（同0.3%増）と前年同月並みとなり、堅調に推移した。

生乳処理量を用途別に見ると、牛乳等向けは、32万7,714トンと前年同月並みとなった。なお、業務用向け処理量については、2万5,954トン（前年同月比2.8%減）と前年同月をわずかに下回ったものの、COVID-19拡大の影響を受けたと考えられる2年4月からは20.4%増となった。

乳製品向けは、32万5,528トン（前年同月比4.3%増）と前年同月をやや上回った。品目別に見ると、クリーム向けは、6万513トン（同5.8%増）と前年同月をやや上回り、チーズ向けは3万9,217トン（同2.4%減）と前年をわずかに下回った。脱脂粉乳・バター等向けは、17万8,950トン（同5.9%増）と前年同月をやや上回った。

2022年度生乳生産量 0.8%増 Jミルク

一般社団法人Jミルクは、2022年度が生乳及び牛乳乳製品の需給見通しについて、全国が生乳生産量は771万トン（前年比0.8%増）と4年連続の増産となる見通しを発表した。地域別には、北海道が439万9,000トン（同2.0%増）と引き続き増産が見込まれる一方で、都府県では331万1,000トン（同0.7%

減）と3年ぶりに前年度を下回ることを見込んだ。

なお、2022年度の乳用雌牛飼養頭数を見ると、特に生乳生産を担う2歳以上については、今年度末には、北海道で約4000頭増加する一方、都府県では4000頭減少し、全国では前年度並みに推移するものと見込まれている。

生乳の用途別処理量の見通しは、飲用等向けは405万5,000トン（前年比0.1%増）と前年並みの水準にとどまる一方、乳製品向けは360万5,000トン（同1.6%増）と増加が見込まれている。内訳は、チーズ向けが46万トン（同5.4%増）、生クリーム等向けが127万トン（同1.9%増）と増加する見通しであるものの、生乳生産量の増加などが影響し、脱脂粉乳・バター等向けは187万5,000トン（同0.6%増）と前年度を上回る見通しとした。

乳製品輸入枠当初数量据え置き 農水省

農林水産省は、国家貿易による2022年度の乳製品輸入数量について、今年1月に設定した年間輸入枠を据え置くと発表した。脱脂粉乳の過剰在庫が過去最高となるなど、引き続き国内の乳製品需給が緩和しているためとしている。

同省は今年度の乳製品輸入枠を、カレントアクセスの枠内数量（生乳換算13万7,000トン）にとどめている。製品別数量は脱脂粉乳750トン（生乳換算5,000トン）、バター7,600トン（9万4,000トン）、ホエイ4,500トン（3万1,000トン）、バターオイル500トン（7,000トン）となる。

飼料のご用命は

武陽食品株式会社

飼料部宮城営業所 飼料部福島営業所

東北第一営業所山形出張所 担当

乳価 15 円前後値上げ要請 都府県指定団体

一般社団法人中央酪農会議によると、都府県の指定団体は 6 月から、2022 年度乳価の期中値上げ交渉に乗り出した。要求額は指定団体によって異なるものの、飲用向けと発酵乳等向けを中心に、9 月から 1 キロ当たり 15 円前後の値上げを求めている。

今年度の乳価交渉は大半の指定団体が据え置きで決着していた（一部は継続交渉）。しかしその後、飼料価格などの高騰が相次ぎ、酪農経営が急速に悪化したことから、期中値上げ交渉に踏み切った。

4 月牛肉生産量 2.5%増 ALIC

独立行政法人農畜産業振興機構（ALIC）は、2022 年 4 月の牛肉生産量は、2 万 9,766 トン（前年同月比 2.5%増）と前年同月をわずかに上回ったと発表した。品種別には、和牛は 1 万 4,415 トン（同 2.5%増）とわずかに、交雑種は 7,747 トン（同 8.9%増）とかなりの程度、いずれも前年同月

を上回った一方、乳用種は 7,128 トン（同 3.1%減）と前年同月をやや下回った。

過去 5 カ年の 4 月の平均生産量との比較でも、4.4%増とやや上回る結果となった。

4 月牛肉輸入量 2.5%増 ALIC

独立行政法人農畜産業振興機構（ALIC）は、4 月の牛肉輸入量は、6 万 1,521 トン（前年同月比 11.3%増）と前年同月をかなり大きく上回ったと発表した。このうち冷蔵品は、米国産および豪州産の現地相場が高いことに加え、豪州産の生産量の減少や物流の混乱などにより、2 万 477 トン（同 19.9%減）と前年同月を大幅に下回った。冷凍品は、前年同月の輸入量が少なかったことなどから、4 万 1,003 トン（同 38.0%増）と前年同月を大幅に上回った。

過去 5 カ年の 4 月の平均輸入量との比較でも、冷蔵品は 19.8%減と大幅に下回る結果となった一方、冷凍品は 15.6%増とかなり大きく上回る結果となった。

J-オイルミルズ ファイバーフィード 乳用牛・肉用牛飼育用混合飼料

ファイバーフィードは、大豆皮を主原料とし、ペレット化した混合飼料です。大豆皮は NDF 含量が高いにもかかわらず、リグニン含量が低いいため消化性が高く、高エネルギーです。高繊維、高エネルギーの原料である大豆皮をふんだんに使用した、ファイバーフィードは J-オイルミルズにしかない、独自の飼料です。

夏場の飼料給与には、粗飼料の不足を補い、第一胃内の発酵の安定させる、ファイバーフィードをお勧めします。



成分	原物中	乾物中
粗たん白質	14.0%前後	16.0%前後
粗脂肪	3.0%前後	3.4%前後
粗繊維	23.0%前後	26.4%前後
粗灰分	7.0%前後	8.0%前後
カルシウム	0.40%前後	0.40%前後
りん	0.15%前後	0.17%前後
T D N	65.0%前後	74.7%前後